

# 取扱説明書

このたびはDXアンテナ製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

DXアンテナの製品を正しく理解し、ご使用いただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保存してください。



**DIGITAL**

## CS/BS-IF・CATV・UHF・VHF屋外用分配器 地上デジタル放送対応

出力1端子↔入力端子間通電(DC15V・0.8A以下またはAC30V・1.0A以下)

2分配器 2DB1C 3分配器 3DB1C

4分配器 4DB1C

### 製品の特長

- 伝送周波数帯域は10～2610MHzの広帯域形です。FM、VHF・UHFテレビ放送、CATV、さらにCS/BS放送に使用できます。
- 出力1端子と入力端子間は通電仕様で、CS/BSアンテナやブースターに出力側から電源を供給することができます。(DC15V・0.8A以下またはAC30V・1.0A以下)
- マスト取付は、新設計のナット1個締め金具で、施工の手間と時間を大幅に削減します。
- 通電表示LEDランプを装備。CS/BSアンテナやブースターへの電源供給時に緑色に点灯します。
- ケース内は、ダイカスト構造により外来ノイズをブロックします。
- 端子間隔は幅広仕様で、配線作業の効率がアップします。
- 取付適合マスト径はφ22mm～φ49mm(20A～40A)に対応。壁面取付も可能です。

### 安全上のご注意



△記号は注意(危険・警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容(左図の場合は警告または注意)が描かれています。



○記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は接触禁止)が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は注意して行なってください)が描かれています。



**警告**

この内容を見逃して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- テレビ受信関連工事には技術と経験が必要ですので、お買い上げの販売店もしくは工事店にご相談ください。



- 不安定な場所に設置しないでください。  
落ちたりして、けがの原因となります。



- 高所などに設置する場合は、足場と安全を確保して行なってください。落ちたり、すべったりしてけがの原因となります。



- 万一内部に水などが入った場合は、まずこの製品に接続している電気製品などの電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店もしくは工事店にご連絡下さい。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



- この製品を調理台の付近など高温になる場所で使用しないでください。燃えたりして、火災や故障の原因となります。



- この製品に接続する同軸ケーブルには、テレビ電波以外に電流が流れることがあります。同軸ケーブルなどを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したり（熱器具に近づけたり）引っぱったりしないでください。火災・感電の原因となります。



- 同軸ケーブルなどが傷んだとき（心線の露出、断線など）は、お買い上げの販売店もしくは工事店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



- 万一、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐにこの製品に接続している電気製品の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店もしくは工事店に修理をご依頼ください。



- この製品に接続する同軸ケーブルには電流が流れることがありますので、途中には通電形機器以外は挿入しないでください。回路やケーブルがショートして、火災や感電の原因となります。また、通電形機器を挿入する場合は、通電端子をよく確かめてお使いください。



- この製品のケースを開けたり、分解したりしないでください。また、お客様による修理や改造はしないでください。感電やけがの原因となりますし、性能維持ができなくなり、故障の原因となります。



- 雷が鳴り出したら、この製品には触れないでください。感電の原因となります。



## 注意

この内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- 取り付けネジや、ボルトや接合は、指定している力（トルク）で締め付け、堅固に取り付け固定してください。落下や破損して、感電やけがや故障の原因となります。



- お手入れの際には、ベンジン、アルコール、シンナーなどは使わないでください。溶けたり、変質することがあります。お手入れは、柔らかい布で軽く拭き取ってください。化学雑巾を使用する際には、その注意書に従ってください。

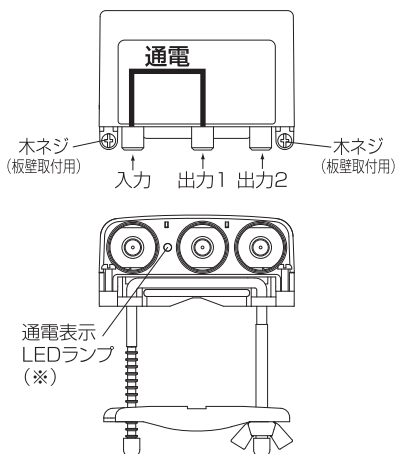


## お取扱いの前に

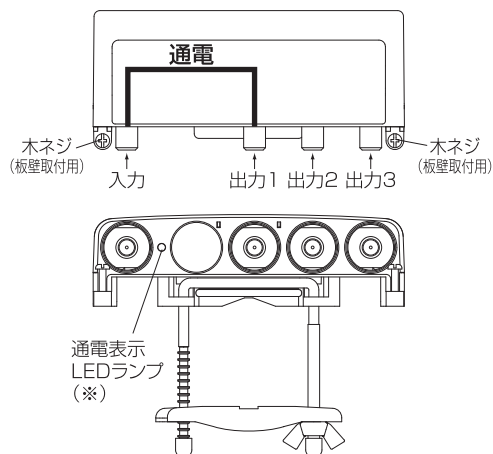
- 結線や取り付け作業は、この取扱説明書をよくお読みのうえで行なってください。
- 電源の供給は、すべての同軸ケーブルが完全に接続されていることを確認した後に行なってください。
- 入力端子と出力端子は、「各部の名称」をご覧のうえ、製品をよく確認してから接続してください。
- 付属の防水キャップは加工済みのため、カット等する必要はありません。そのまま同軸ケーブルを通してください。(ただし、7C以上の同軸ケーブルは防水キャップをカットして使用してください。)

## 各部の名称 (出力1↔入力端子間通電)

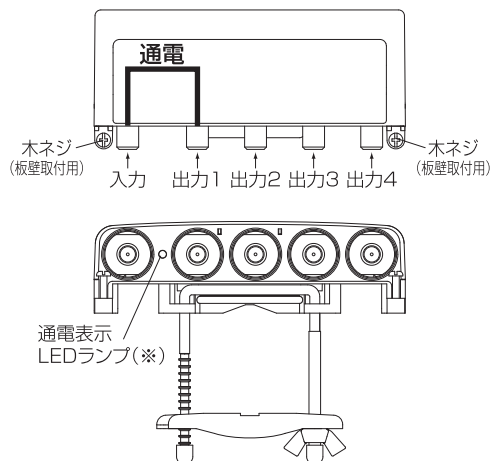
### 2DB1C



### 3DB1C

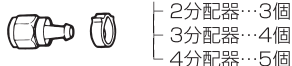


### 4DB1C



### 付属品

F-5接栓 (リング付)



防水キャップ (加工済み)



注) 木ネジ (板壁取付用) は、工場出荷時本体に取り付けられています。

※ 通電表示LEDランプは入力ー出力1端子間にあり、通電されていると緑色に点灯します。  
(通電容量：DC15V・0.8A以下またはAC30V・1.0A以下)

# 取付方法

マスト取付、壁面取付、およびステンレスバンドによる取付が可能です。

## 〈マスト取付の場合〉

※図はすべて4DB1Cで説明しています。

**1**

蝶ナット

コの字形金具

図のように蝶ナットをゆるめてコの字形金具を90度倒してください。

**2**

マスト押え金具

コの字形金具

蝶ナット

図のようにマスト押え金具の一方をはずします。

**3**

〈上から見た図〉

取付マスト径の目安	
φ22mm	~ φ30mm
φ25mm	~ φ40mm
φ27mm	~ φ40mm
φ34mm	~ φ40mm
φ42mm	~ φ49mm
φ49mm	~ φ49mm

締める作業はこの1か所のみです。

あらかじめ、設置するマスト径に合わせて、13段階の溝からマスト押え金具をはめる位置を決めておきます。

**4**

矢印の向きにマストを挟むように本体とマスト押え金具ではさみます。

マスト押え金具

マスト

カギ穴

溝(コの字形金具)

このとき、本体とマスト押え金具が、ほぼ平行になるように上記**3**で決めた溝に、カギ穴を引っ掛けてください。

マスト押え金具を右方向にスライドさせて、カギ穴と溝の間に隙間が開かないようにしっかり引っ掛けてください。隙間ができると脱落や事故の原因になります。

**5**

蝶ナットをしっかり締め付けて完了です。

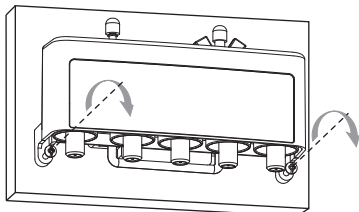
締付トルク1~1.5N・m

奥までしっかり引っ掛けてください

## 取付方法 つづき

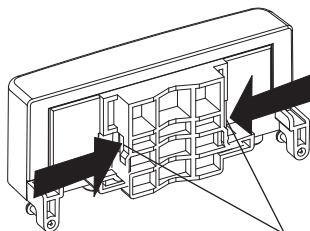
### 〈板壁取付の場合〉

本体に付いている木ネジを⊕ドライバーを使用して板壁等に取り付けてください。



### 〈その他の取付方法〉

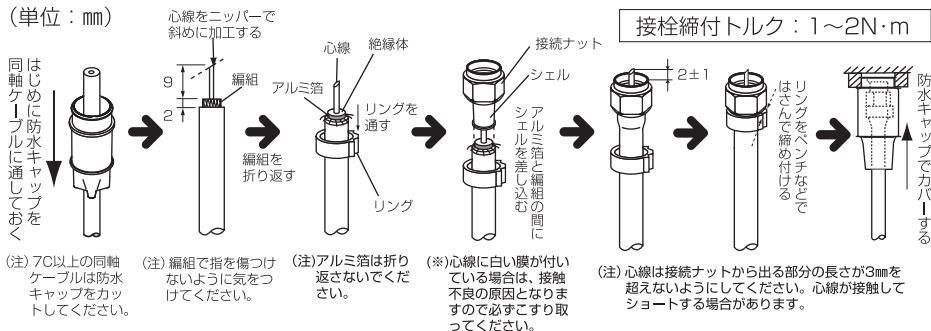
φ49mmを超えるマストに取り付ける場合は、市販のステンレスバンド（10mm幅）を本体裏面の側面穴に通して取り付けてください。（コの字形金具は黄色いキャップと蝶ナットをはずして本体から取りはずしてください。）



ステンレスバンド通し穴  
(左右どちらからでも通せます)

## F-5接栓(付属品)への同軸ケーブル接続方法 (S-5C-FBケーブル用)

(単位: mm)

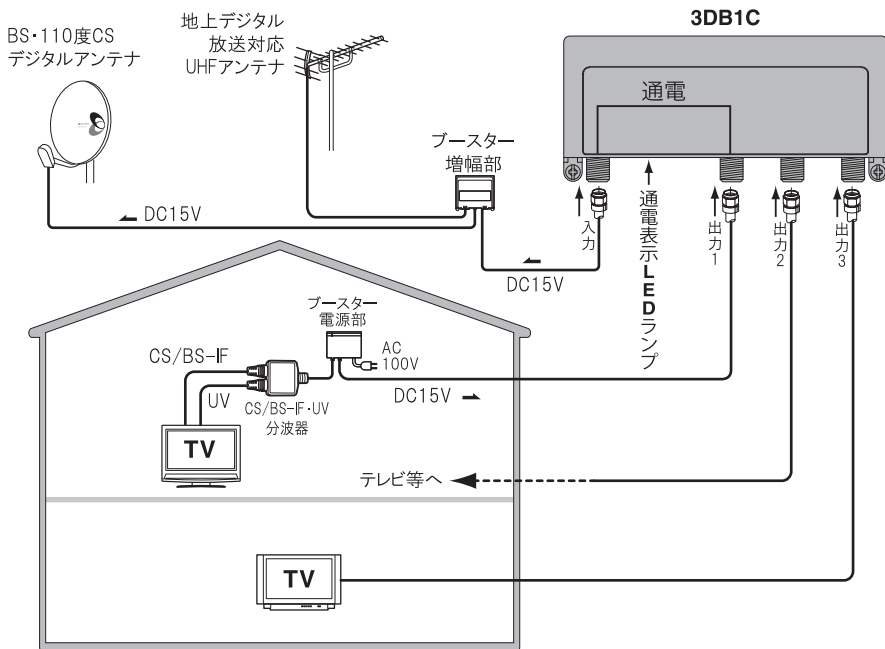


- 防水キャップ(付属品)は加工不要です。同軸ケーブルの先端を加工する前に通しておいてください。(周囲が低温時等、ケーブルを通しにくい場合は強く押し込んでください)
- 電波を効率よく伝送するため、同軸ケーブルは低損失のS-5C-FBをおすすめします。
- 同軸ケーブルの先端加工をする場合、心線、編組に傷をつけますと断線の原因になりますからご注意ください。また心線と編組は絶対に接触しないようにご注意ください。
- 接栓を取り付けた同軸ケーブルの心線が曲がっていないかよく確かめ、また心線を曲げないように接続してください。
- 取付後、同軸ケーブルが抜けたりしないようリングをしっかり締め付けてください。
- 本体へ接続するときは、端子から接栓がはずれないようにしっかり締め付けてください。

※他の種類のケーブルを使用する場合は、使用するケーブルに適合した接栓をご使用ください。また防水キャップは製品本体に奥まで確実に差し込んでください。内部に雨水などが入ると故障の原因となります。

## 使用例

一例として3DB1Cで代表して説明しています。2DB1C、4DB1Cも下図を参考に入力端子と出力端子を間違えないように同軸ケーブルでそれぞれの通電形機器を接続してください。



通電容量 **DC15V・0.8A以下**または**AC30V・1A以下**

## 使用上のご注意

- 同軸ケーブルは、本体に力がかからないように、少し余裕がある程度でご使用ください。
- 入力(IN)端子、出力(OUT)端子への接続は、「各部の名称」をご確認のうえ、それぞれの端子を間違えないようにご注意ください。
- この分配器は入力端子と出力1端子間で通電するようになっています。通電容量は、DC(直流)15V・0.8A以下またはAC(交流)30V・1.0A以下です。
- AC(交流)電源とDC(直流)電源を同時に通電することはできません。
- 接栓の加工時に、同軸ケーブルの心線と編組を接触させないでください。他の機器の故障の原因となります。
- 分配器の空き端子にはダミー抵抗(別売)を接続してください。
- 分配器を使うと、テレビ電波が弱くなり映像が映らなくなる場合があります。このような時は、ブースターが必要となる場合がありますので、お買い上げ販売店等へご相談ください。

## 規格特性

品名	型番	使用帯域	使用周波数 (MHz)	分配損失 (dB以下)	端子間結合損失 (dB以上)	入出力VSWR (以下)	インピーダンス(Ω)		質量 (g)
							入力	出力	
屋外用2分配器	2DB1C	UHF・FM (CATV)	10~76	4.4	15	2.0	75	75 × 2	200
			76~222	4.0	20	1.5			
			222~770	4.2	20	1.5			
		CS/BS-IF	1032~1489	4.9	15	2.0			
			1489~2150	6.0	15	2.0			
			2150~2610	7.4	15	2.5			
屋外用3分配器	3DB1C	UHF・FM (CATV)	10~76	6.3	15	2.0	75	75 × 3	280
			76~222	6.0	20	1.5			
			222~770	7.0	20	1.5			
		CS/BS-IF	1032~1489	8.0	15	2.0			
			1489~2150	9.0	15	2.0			
			2150~2610	11.5	15	2.5			
屋外用4分配器	4DB1C	UHF・FM (CATV)	10~76	8.5	15	2.0	75	75 × 4	280
			76~222	8.0	20	1.5			
			222~770	8.0	20	1.5			
		CS/BS-IF	1032~1489	9.5	15	2.0			
			1489~2150	11.5	15	2.0			
			2150~2610	12.5	15	2.5			

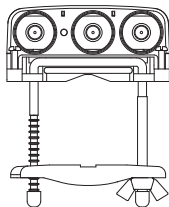
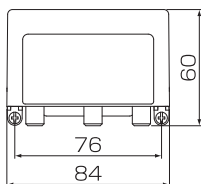
※出力1端子と入力端子間のみ通電仕様（DC15V・0.8A以下またはAC30V・1.0以下）  
規格は改良により、変更させていただくことがありますのであらかじめご了承ください。



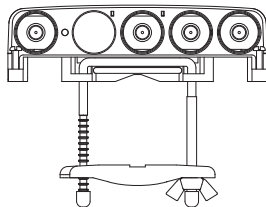
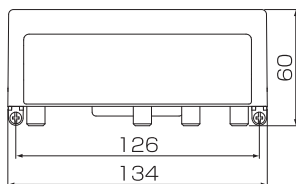
DHマーク（デジタルハイビジョン受信マーク）は、（社）電子情報技術産業協会が審査・登録された一定以上の性能を有する衛星アンテナ、UHFアンテナ、受信システム機器に付与されるシンボルマークです。

# 外形寸法図

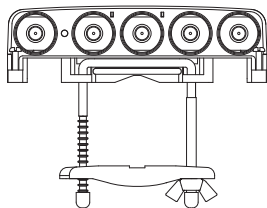
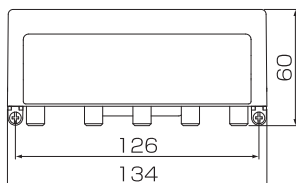
## 2DB1C



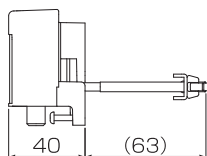
## 3DB1C



## 4DB1C



## 共通



(単位:mm)

※この製品を処分するときは、地方自治体のルールにしたがって処理してください。

**カスタマーセンター**  **0120-941-542**

(受付時間 9:30~17:00 夏季・年末年始休暇は除く)

携帯電話・PHS・一部のIP電話で上記番号がご利用にならない場合 **03-4530-8079**

**お昼時間も土・日・祝日もご利用ください!**

ホームページアドレス <http://www.dxantenna.co.jp/>

**DXアンテナ株式会社** 本社/〒652-0807 神戸市兵庫区浜崎通2番15号

(1404)